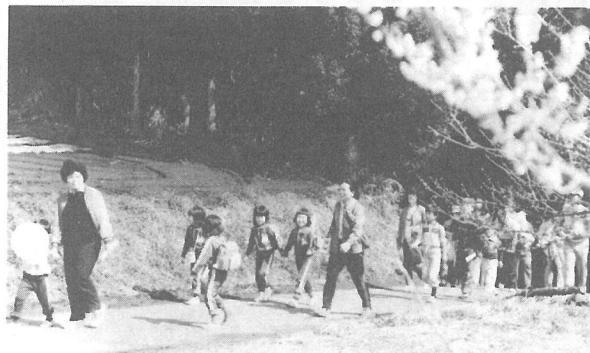


梅の花とゲームとお弁当——

親子で 歩いて遊んで 楽しい一日

親子レク・ハイキング(3.25)



↑坂を登れば、梅の花がお出迎え↑

穏やかな春の一日、「親子レク・ハイキング」が行われました。参加したのは100人近い親子の皆さん。リュックにお弁当をつめ、お父さん・お母さんと楽しいおしゃべりをしながら、梅の香ただよう大総路のりんびり。みんなでゲームをして遊んだ大総小学校には、楽しく笑いあう声が多かったです。



珍しい話題などがありましたらぜひ御連絡ください

ひろば



お弁当を食べてゲームをして、表情もなごみます。



↑お母さんと歩いてごきげん↑

私のひとこと



減反・輸入自由化・食生活の変化に伴う野菜・果樹の品種改良など、現在の農業を取り巻く環境は大きく移り変わってきた。

農業もまた楽し 吉川泰弘(取立)

つかない地味な仕事をしなければならぬ。しかし、子株づくり・花芽形成・定植・ビニール被覆と4段階の過程を経て、初めて一つの花が咲いた時には、うれしいものであり、赤く熟せば「よし、また来年もやってやろう」という気になる。また、自分の作った作物を「おいしい」と食べてもらう時の生産者の喜びは、他の職業では味わえないものではないだろうか。

偉そうなことを書いたようだが、私とて都会の雑踏やスーツ姿で働くことになった時もあった。しかし6年めを迎えた今日では、苺づくりもおもしろいものだとしみじみ思っている。

この「私のひとこと」を読んでくれる人、とりわけ若い男の人・女の人——「グサイ」などと言で片づけられない、もう一度ゆつくりと農業を見つめ直して欲しい。農業もなかなか楽しいものである。

